

三原市議会議員 あんどう志保 活動ダイアリー

人・もの・自然を大切にすまちに！

みどりのはらっぱ

2019年7月発行 通算第12号 発行元：あんどう志保と「みどりのはらっぱ」の会
 〒723-0002 三原市中之町南 1402-66 TEL 080-2932-4879 FAX 0848-67-1779 メール andoshiho@gmail.com
 ホームページ http://shiho-ando.com facebook ページ https://www.facebook.com/with.andoshiho/

あんどうは「つなぐ！」

あんどう志保の1年間活動ダイジェスト

5分でわかる!
詳しい方はこのページだけ CHECK!

1 市政のチェック 奮闘しましたが残念な結果に

●不燃物処理工場の「消えたアルミ缶問題時価380万円相当」→2ページへGo!

三原市民の財産である有価物＝アルミ缶が行方不明になり、警察による捜査の結果、平成30年6月1日に書類送検、9月19日に不起訴（嫌疑不十分）となりました。

●不燃物処理工場の建て替え建設費29億7千万円に→2ページへGo!

落札者決定手順が開札当日に突然変更され、選定されなかった企業から「透明性に疑問、議会で確認を」との文書が送られました。計画自体にも問題があり反対しましたが、賛成多数で可決されました。

●市長と議員など30人分の期末手当（ボーナス）86万円の増額→3ページへGo!

増額しないよう修正案を提出しましたが、賛成2名で否決され、増額案が可決されました。

2 調査・提案・行動で政策実現

●市民の声を反映する仕組みづくりを市に提案→3ページへGo!

政務活動費を活用して、無作為抽出の三原市民にアンケートを行い、得た結果から改善提案を行いました！

●持続可能な開発目標（SDGs エスディージーズ）の取り組みを三原でも！

全国的に取り組む自治体が増えており、三原市でも取り組むべきことを求めています。地球規模でも地域レベルでも、持続可能性を高めることが喫緊の課題です。

3 市民のみなさまからのご要望・ご相談

●大雨災害情報共有@広島県【三原市】Facebook ページで情報発信→3ページへGo!

災害復旧や生活支援に関するご相談を多くいただいた1年でした。情報の混乱を防ぐため、発災直後から情報を発信。現在も補助金情報や復旧のためクラウドファンディングを募る方の情報など、更新を続けています。

●本郷に建設予定の産廃処分場の問題点を追及

民間事業者により広島県へ建設申請が出されていますが、計画内容に問題があり、三原・竹原市民のみなさんと一緒に取り組んでいます。

平成30年度 「是々非々の会」 政務活動費 ※詳細報告は、あんどう志保ホームページに掲載しています。	調査研究	(6月)	情報コミュニケーション調査のためのアンケート郵送料（事務費）※1	120,000円
	研修費	(1月)	「防災と議員の役割」受講料（研修会議費）	7,300円
			受講に伴う旅費（活動旅費）	26,660円
			受講料の振込手数料（事務費）	648円
		(10月)	防災服（議会で一括購入）（事務費）	8,691円
		(3月)	文書共有システム用タブレット端末通信費（規定による負担）（事務費）	9,072円
交付金額合計				172,371円

※1：調査の概要は→3ページへGo!

市政のチェック

問題だらけの 不燃物処理工場建て替え問題

- ❗ 新市建設計画や長期総合計画などで**予定されていなかった建て替え**が、平成28年度の途中に、三原広域市町村圏事務組合内部の**予算流用**によって、基本構想がつくられた
- ❗ 降って湧いた建て替えに、多くの議員から**疑問や反対の声が上がった**にも関わらず事業が進められ、平成28年9月の説明では20億円とされた**予算が29億7千万円**になった
- ❗ 高額の施設整備にも関わらず、建設のための**予算が施設の詳細も示されないまま提案**された（平成30年3月）
- ❗ 不燃物処理工場で三原市民の財産である有価物が大幅に失われた可能性について、組合として事態を把握していながら、議会から指摘を受けるまで、**原因調査を行っていなかった**（右記）

このように杜撰な対応と、軽率な意思決定が、何度も繰り返されてきている不燃物処理工場で……

またしても問題が起きました。

それは落札候補者選定の日（H31年2月22日）のことです。



これらの疑問に対するの答弁は、「変更を前もってお知らせできれば良かった」「1人の外部評価者が公正性が保たれていることを証言しており問題ない」と繰り返すばかり…。それでも、議会で可決され、建設が進むことになりました。**平成28年度から問題を指摘してきましたが、状況を改善することができず残念です。**

※今後、資源ごみの出し方が変わる予定です。

消えたアルミ缶問題 嫌疑不十分による不起訴決定

1年間で時価380万円相当のアルミ缶が消えた!? 三原市民の財産である有価物（アルミ缶）がなくなった問題が、2年前の市長選で話題になったことを覚えておられるでしょうか。経緯は下記の通りで、「不起訴」という結果になりました。

経緯

H28年1月	監査が「業者が利益を得ている可能性」を指摘
H28年9月	組合が工場計量と買取業者申告量のH28上期差異を把握
H28年12月	組合が監査に差異を報告。原因調査は行わない
H29年2月	市議会で差異を指摘され問題発覚、4月から監視カメラ設置など対応を行うことを決定
H29年3月	市議会が警察への届け出を求め、内部調査を決定
H29年6月	調査の結果、原因がわからないことを議会に報告
H29年8月	市民が警察に告発
H30年6月	三原警察署から広島地方検察へ書類送検
H30年9月	嫌疑不十分による不起訴決定

業を煮やして刑事告発した市民は…

「市民が動くきゃないと、清水の舞台から飛び降りるつもりで告発しましたが、結果は不起訴。書類送検の時も、不起訴決定の時も、どういうわけか告発人の私達よりも、市長周辺に先に情報が伝わっていて、不信感が募っています」と告発したSさん。

行政としての責任

H28年12月時点で200万円相当の差＝損失を、トップである市長含めて把握していながら、原因調査も公表もしなかった点に行政として過失があります。この時点で事態を明らかにしていれば、それ以降の170万円相当の差は発生しなかったはず。市長は「長年の施設の問題で歴代管理者の責任だが、私が給与返納（3万円）で道義的責任をとる」と幕引きされましたが、発生した問題への対応を見直さなければ、同じ問題が起こります。左記の入札問題は起こるべくして起きています。

対する議会は…

度々問題を起こしている不燃物処理工場ですが、市議会での追及に対して議会内からストップがかかります。行政をチェックするのは市議会の役割と思いがんばっていますが、市議会をチェックできるのは市民のみなさんです。ぜひ、関心の目を向けてください。

「消えたアルミ缶」ホームページ → <https://alumikan.jimdo.com/>



大学生の議員インターンシップを受け入れました。

NPO 法人ドットジェイピーのプログラムで2ヶ月間
法学生2名のインターンを受け入れました。

三原市議会議事堂
(仮庁舎) 前で



田中奈津子さん

Q: インターンの動機は?

A: インターンを通して何が政治の問題点なのか知りたいと思った。

Q: いちばん印象に残ったことは?

A: 議員といえばカタイイメージ。でも傍聴の折に声をかけてくれてフレンドリーで意外だった。

Q: いちばんおもしろかったことは?

A: 見学に行った児童クラブでボランティアと一緒に遊んだり勉強をみたりしたこと。

Q: インターンをやる前、政治と自分の距離が100mあったとしたら、何mくらい近づきましたか?

A: 60メートルくらい縮まった。市政だよりを読むようになり、郷里のことも知りたくなった。

Q: 同世代の人に、議員インターンを勧めますか?

A: 大学では絶対に出会いと学びがあるので、人に勧めたい。法学部の人にこそ参加してもらいたい。

Q: 若い人の政治離れについてどうしたらいい?

A: 投票をしたくても住民票が郷里にある人は手続きが大変。投票しやすい制度の整備が大事。

鯉沼ゆみりさん

Q: インターンの動機は?

A: 小学生の頃から友達と選挙ポスターを見て「誰が市長になったらいいと思う?」と話していた。大学の授業に議員が話をしに来られ、インターンに興味を持った。

Q: いちばん印象に残ったことは?

A: 自分なりの考えが浮かんでも傍聴中なのでそれを提案できないもどかしさ。

Q: いちばんおもしろかったことは?

A: 市役所でまちづくりシミュレーションゲームに参加し、子ども福祉局長としての行政案件の決定を模擬体験できたこと。

Q: インターンをやる前、政治と自分の距離が100mあったとしたら、何mくらい近づきましたか?

A: 興味を持つようになった意味では60メートルくらい縮まった。しがらみや我慢の部分を多く感じ、議員の頑張りを感じるものの自分が議員や行政に関わる仕事をしたいとは思わない。

Q: 同世代の人に、議員インターンを勧めますか?

A: 法学部としてはぜひ。ただしネガティブな人は議員の方に迷惑をかけるかも。前向きな人を誘いたい。

Q: 若い人の政治離れについてどうしたらいい?

A: きっかけがあると興味を持つ。きっかけをどう作るか。インターンのような機会があるといい。

田中さん、鯉沼さん、お疲れ様でした。
この経験を生かしてご活躍を期待しています!



みんなで知ろう! 考えよう! 三原の今と未来

茶話会「あんどろ志保さんに聞いてみよう!」

主催は自然派のスパイスカレーのお店「きはら楽観堂」さん。「～志保さんとの出会いや、参加者さん同士の出会いを通じて、地域の事、自分たちの暮らしの事、市議会ってそもそも何しよーるん? そんな事を見直し、悩みや疑問も共有しながら、何か自分たちの未来に希望が持てる会にしたい～(フェイスブックから抜粋)」と、2018年4月から茶話会形式の語る会を4回開いていただき、今年も開催予定です。参加者の感想をいただきましたのでご紹介します。



私が会に参加する理由は3つあります。

1つ目は、三原市について知ることができるということ。2つ目は、様々な地域の様々な方と出会えるという点。3つ目は、安藤さんが応援し続けたいと思わせてくれる人物だからです。

会では志保さんが答えて下さるのはもちろん、参加者同士で情報交換をすることもあり、交流の場になっています。楽観堂の雰囲気もあり、互いに否定し合わないという居心地の良さも好きです。

(参加者/榎田沙希)

あと
がき

2期目の2年が終わり、任期の折り返し地点を超えました。豪雨災害の大きな衝撃に、後悔しないよう「やらないきゃいけない」「やっておいたほうがいい」ということを実行する決意をした平成30年。市政の「絶対おかしい!」と思うことを食い止められず、悔いの大きい一年でもありました。(あんどろ志保)

あんどろ志保の基本姿勢

- ✳️ 組織や団体にしばられず、自分で考え行動する
- ✳️ 市民目線で税金の使い方をチェック
- ✳️ 「未来への責任」を持ち将来にツケをまわさない
- ✳️ 課題の解決と問題の予防に力を注ぐ
- ✳️ 批判とともに、具体的な政策を提案する